

指定管理業務評価シート

施設名	胎内高原ミネラルハウス	評価対象年度	令和4年度
指定管理者	胎内高原ハウス株式会社	所管課	農林水産課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	指定管理料	147,702,272円

管理経費

(円)(税込)

区分		前々年度 (令和2年度)	前年度 (令和3年度)	当該年度 (令和4年度)	備考
収入	指定管理料	144,000,000	132,516,990	147,702,272	
	その他				
	計	144,000,000	132,516,990	147,702,272	
支出	人件費	36,810,000	25,800,000	26,661,000	
	需用費	82,886,000	88,398,990	97,572,000	
	役務費	12,976,750	13,998,000	15,352,000	
	一般管理費	8,833,250	3,240,000	5,852,000	
	雑費	2,494,000	1,080,000	2,265,272	
	計	144,000,000	132,516,990	147,702,272	
	差引	0	0	0	

評価

評価項目	評価内容		評価
利用者の増加、サービスの向上	事業の実施	事業計画に即して、事業を実施しているか	A
	施設利用	協定書等に従い、利用者の福祉及び利便性を損なわないように留意しつつ、当該施設の収益性を高めるよう努めているか	A
	情報発信	施設及び利用者の利便性を高めるため、ホームページを適切に運用しているか	A
		商品パンフレット類を整備し、周知広報を行っているか	A
施設、設備等の管理	維持管理	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)を適切に行っているか	A
		備品等の管理(点検や修繕等)を適切に行っているか	A
		清掃、衛生管理業務を適切に行っているか	A
		施設が清潔に保たれ、利用者が快適に利用できる環境となっているか	A
		外構・植栽の機能・美観が良好な状態に保たれているか	A
		省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか	A
		警備業務を適切に行っているか	A
		防災対策を適切に行っているか	A

	危機管理	事故、災害時の緊急事態に対する対応(マニュアルの整備、訓練の実施など)ができているか	A
		事件、事故等が発生した場合、遅滞なく連絡されているか	A
		避難経路は適切に確保されているか	A
		損害保険等必要な保険に加入しているか	A
業務遂行体制	報告・連絡調整	事業計画、事業報告書、その他報告等を適切に提出しているか	A
		市・関係団体との連絡調整を適切に行っているか	A
	人員体制	管理運営するために必要な人員及び資格者を適切に配置しているか	B
		労働関係法令を遵守しているか(労働条件・賃金関係等)	A
		従業員の教育や研修が適切に行われているか	A
	再委託等	市の承諾なしに、業務を第三者に委託、請け負わせていないか	A
		再委託先から適切に業務報告させるなど、再委託先の業務を適切に管理しているか	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程を整備し、研修や運用等の適切な対応がされているか	A
個人情報の漏えい、滅失等の事故防止対策を講じているか		A	
情報公開・管理	情報公開に関する規程を整備し、研修や運用等の適切な対応がされているか	A	
	作成、受領した文書の適切な管理がされているか	A	
地域社会への貢献性	地域産業・雇用への配慮	市産品を活用しているか	B
		地域住民の雇用により従業員が確保されているか	A
	連携・協働	関係機関、施設や住民との連携、協働の取り組みがなされているか	A
経理・収支状況	経理区分	指定管理者の収支は経理区分が整理されているか	A
	経費節減	事業計画に即した経費節減の取り組みを実施し、効果があったか	A
	収支状況	収支状況が、当初の目標を達成しているか(販売収入、委託料等の実績)	B
総合評価			A

項目別評価	S(優良): 仕様書、協定書、事業計画書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた。 A(良好): 仕様書、協定書、事業計画書等を遵守し、その水準に沿った管理が行われた。 B(課題含): 仕様書、協定書、事業計画書等を概ね遵守しているが、一部に課題がある。 C(要改善): 仕様書、協定書、事業計画書等に遵守されていない点が多く、改善の必要がある。
総合評価	S(優良): 項目別評価がすべてA以上であり、かつSが2割以上である。 A(良好): 項目別評価がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。<S以外> B(課題含): 項目別評価がすべてB以上である。<S及びA以外> C(要改善): 項目別評価にCが含まれている。

特記事項等 (課題・成果)	設備の老朽化により、生産が落ちているため、生産を向上させるためにも設備の補修・更新が必要である。 人員不足がみられることから人員を確保し営業を強化する必要がある。 地元農産物を使用した商品の開発を進めているが量産できていないため、他の農産物でも検討し農家の所得向上につながる取り組みを希望する。
------------------	---